



2019年8月26日

各 位

会 社 名 ポ ー ト 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 春 日 博 文
(コード番号：7047 東証マザーズ)
問 い 合 わ せ 先 取 締 役 副 社 長 丸 山 侑 佑
TEL. 03-5937-6466

<マザーズ>投資に関する説明会開催状況について

以下のとおり、投資に関する説明会を開催いたしましたので、お知らせいたします。

○開催状況

開 催 日 時	2019年8月19日(月) 13:30~14:00
開 催 方 法	対面による実開催
開 催 場 所	鉄鋼会館 801号室 東京都中央区日本橋茅場町3-2-10
説明会資料名	2020年3月期第1四半期 決算説明会資料

【添付資料】

1. 投資説明会において使用した資料

PORT INC.

ポート株式会社 証券コード7047
2020年3月期 第1四半期 決算説明資料





PORT INC.

OUR MISSION

世界中に、アタリマエとシアワセを。

**The Company
Solving Social Issues
with Technologies**

世界中に存在する様々なリアル産業の社会課題を、
テクノロジーとマーケティングで解決し、「無くてはならない」を創造する。



第1四半期は前年同期比**増収増益**と好調に推移。
売上高888百万円（前年同四半期比+40%）、**営業利益153百万円**（前年同四半期比+79%）、**EBITDA170百万円**（前年同四半期+93%）。



2月に新規参入したリーガル領域をはじめ**各領域とも好調に推移**。
事業方針通りインターネットメディア買収も8件が完了し、**順調に進捗**。



上半期減益予想に対して、**増収増益予想に修正**。キャリア、ファイナンスが想定以上の送客数で推移。

目次

1 2020年3月期 第1四半期決算概要

2 今後の業績見通し

3 当社の事業概要

PORT INC.

2020年3月期 第1四半期決算概要

業績ハイライト 2020年3月期 第1四半期

第1四半期は前年同四半期比+39%増収、+79%増益（営業利益ベース）、EBITDA+93%増加。
キャリア・ファイナンスともに送客数増加。

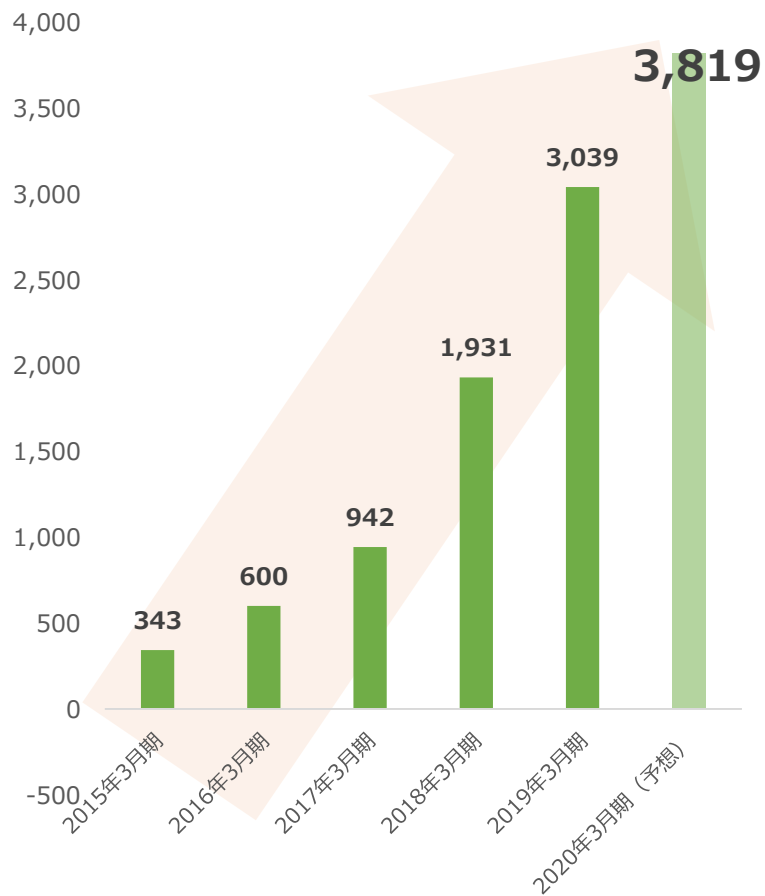
単位：百万円	2020年3月期 第1四半期実績	2019年3月期 第1四半期実績	増減率
売上高	888	636	+39%
EBITDA※	170	88	+93%
営業利益	153	85	+79%
経常利益	151	89	+69%
当期純利益	103	77	+40%

※EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費

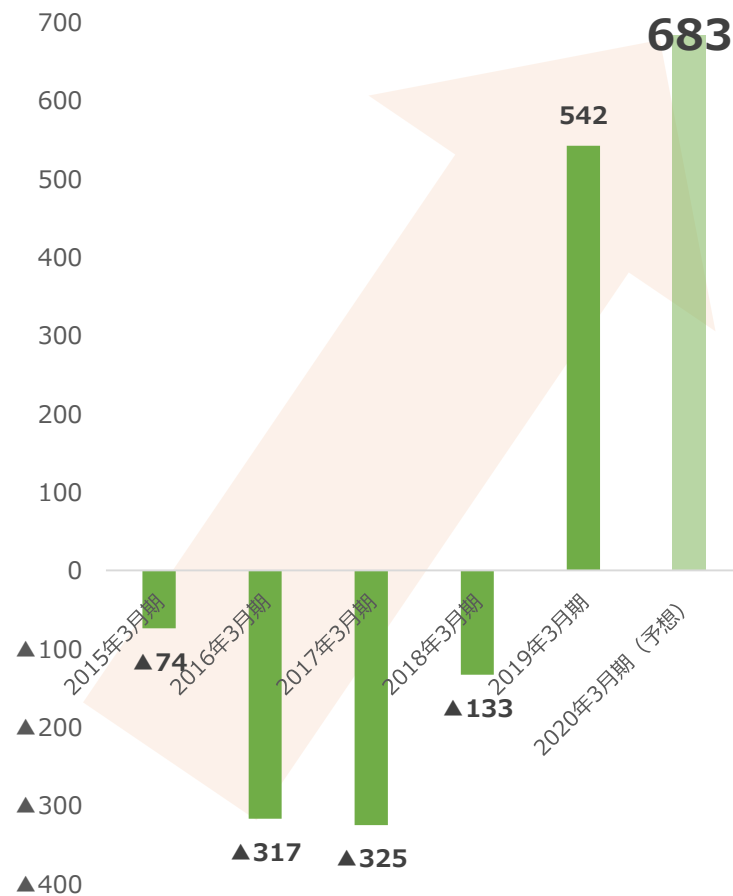
通期業績予想

2020年3月期は通期売上高3,819百万円、営業利益683百万円と増収増益を予想。
予想に対して現在順調に推移。

売上高



営業利益



領域別売上高

全領域前年同四半期で大幅増収。その他は主にリーガル領域の取り込みによる。

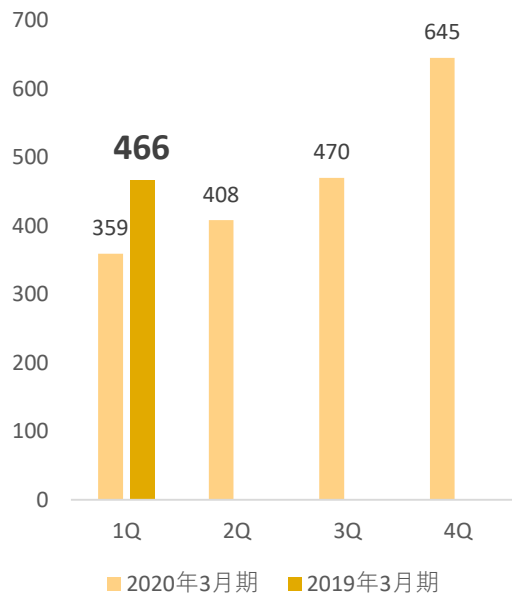
キャリア

2020年3月期
第1四半期累計

2019年3月期
第1四半期累計

466 / 359

+30%



単位：百万円

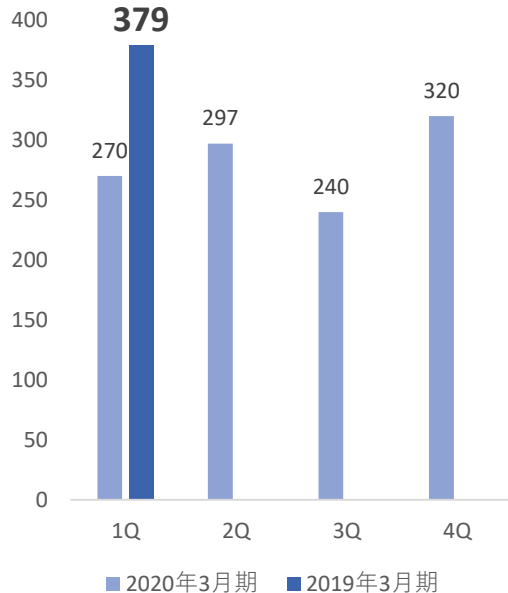
ファイナンス

2020年3月期
第1四半期累計

2019年3月期
第1四半期累計

379 / 270

+40%



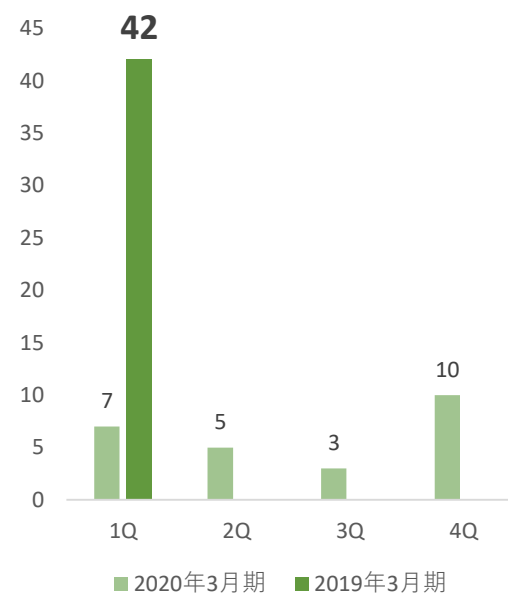
その他

2020年3月期
第1四半期累計

2019年3月期
第1四半期累計

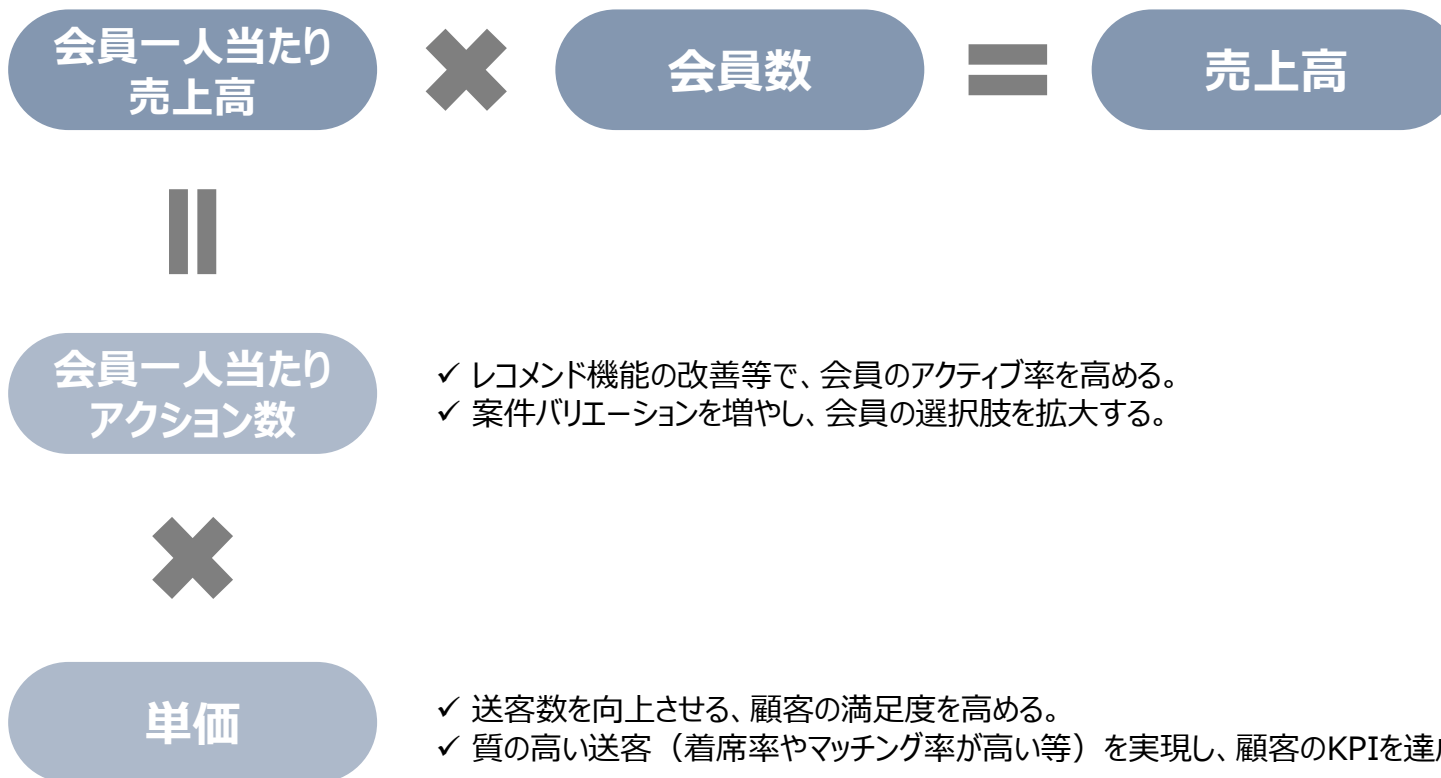
42 / 7

+479%



収益拡大における重要なポイント_キャリア（新卒）

キャリアの新卒ジャンルの売上高は会員数×会員一人当たり売上高で構成される。

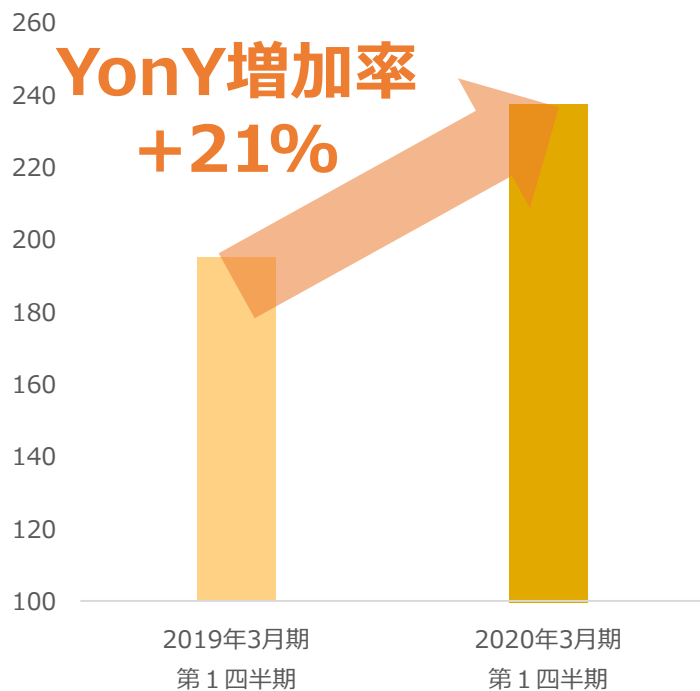


領域別KPI推移_キャリア（新卒）

会員数の増加が売上高成長に貢献。会員一人当たり売上高も増加。

会員数

チャネルの増強等によるアクセスの増加やCVRの改善により増加

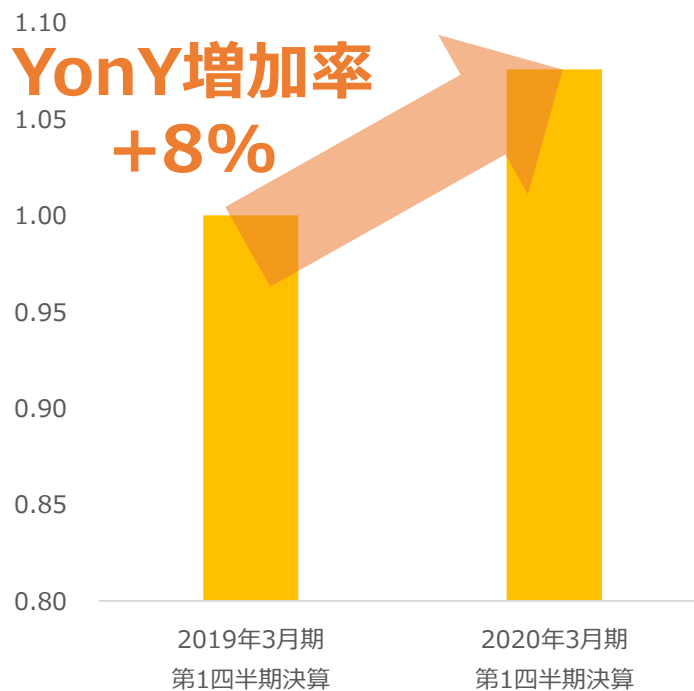


単位:千人

■ 19卒 ■ 20卒

会員一人当たり売上高

一人当たりアクション数の増加



※2019年3月期第1四半期を1とした場合の一人当たり売上高

収益拡大における重点ポイント_ファイナンス

ファイナンスの売上高は送客数×単価で構成される。
キャリアとは違い会員モデルを採用しておらず、送客数はアクセスもしくはCVRの改善により上昇。



||



- ✓ 陳腐化しづらいコンテンツにより安定的なアクセスを継続獲得。
- ✓ データ分析の結果からコンテンツのリライトを実施し、継続的にアクセスを拡大。
- ✓ 業務提携やメディア買収、広告宣伝等によるチャンネルの増加によりアクセス拡大。

×



※コンバージョン・レート

- ✓ コンテンツと広告の相関性などのテストマーケティングを繰り返し最適化を図る。
- ✓ 送客結果などのデータ分析から更なる送客効率を最適・最大化。

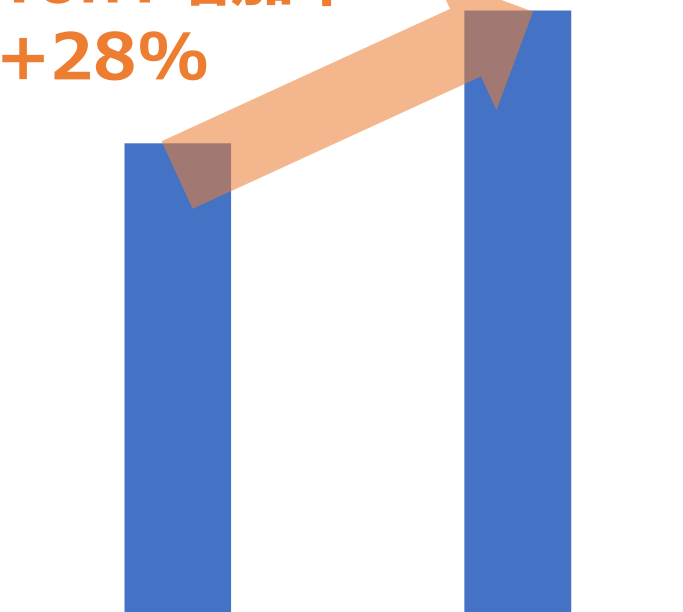
領域別KPI推移_ファイナンス

送客件数、単価ともに上昇し売上高の成長を牽引。

送客件数

チャネルの増強等によるアクセスの増加により
送客件数上昇

YoY増加率
+28%



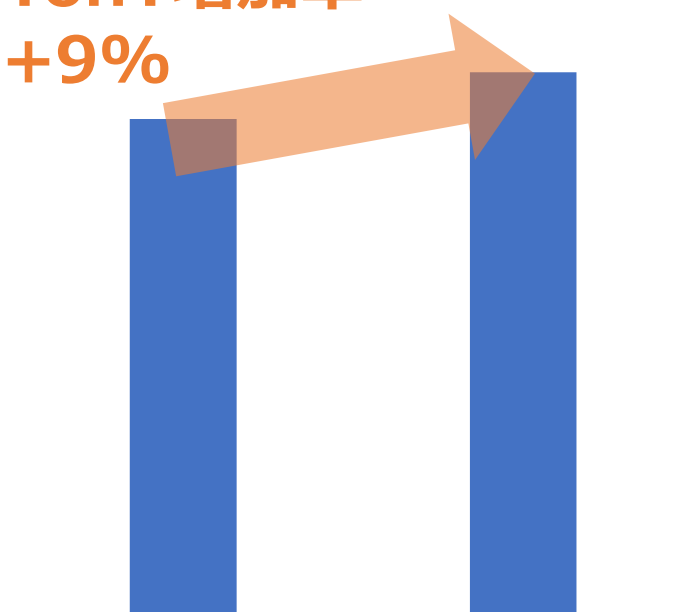
2019年3月期
第1四半期

2020年3月期
第1四半期

単価

送客件数の増加と質の向上により
単価上昇

YoY増加率
+9%



2019年3月期
第1四半期

2020年3月期
第1四半期

売上高広告宣伝費比率

売上高広告宣伝費比率は前年同期比で同水準を維持。

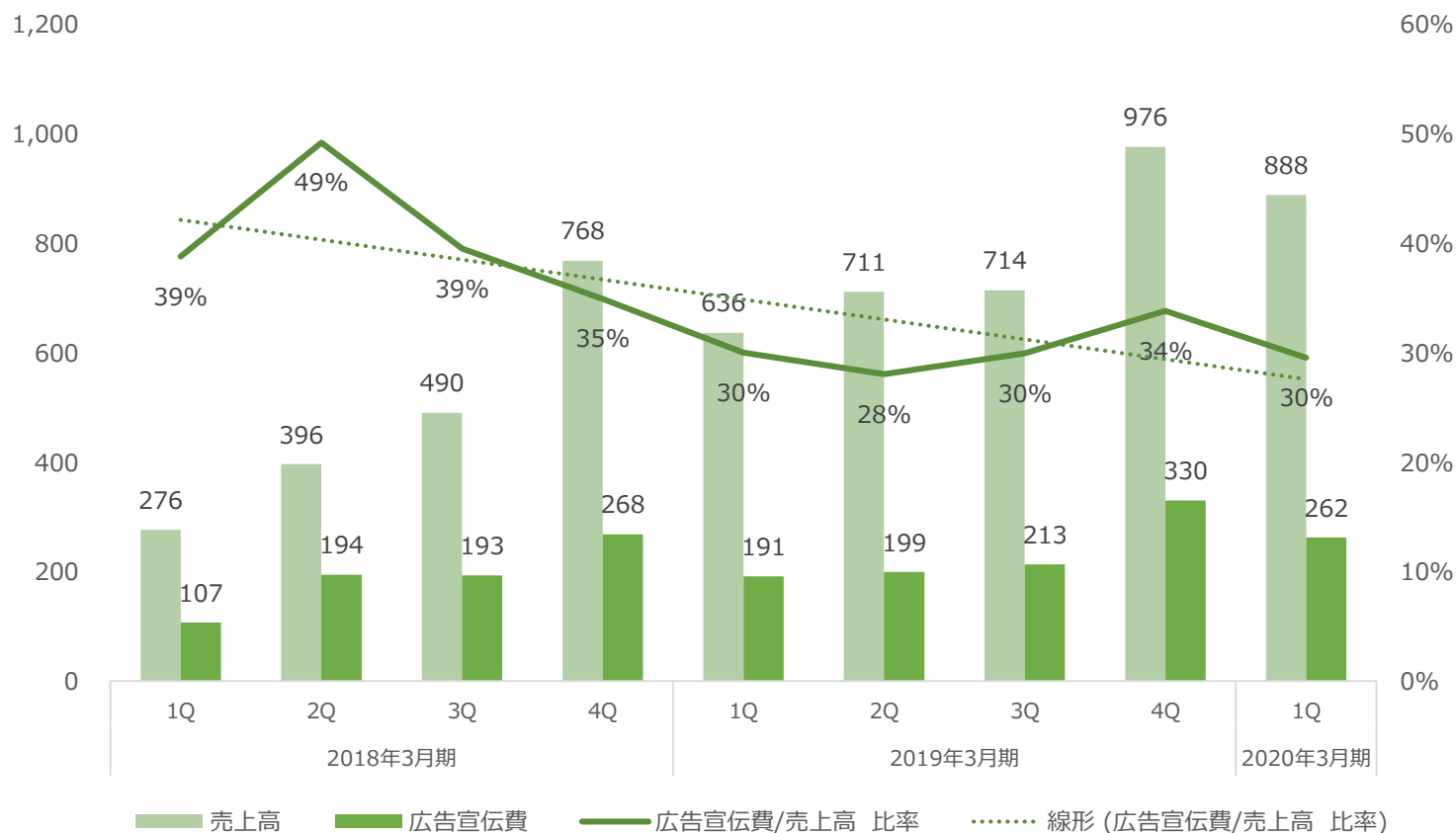
2019年3月期第1四半期

30%

2020年3月期第1四半期

30%

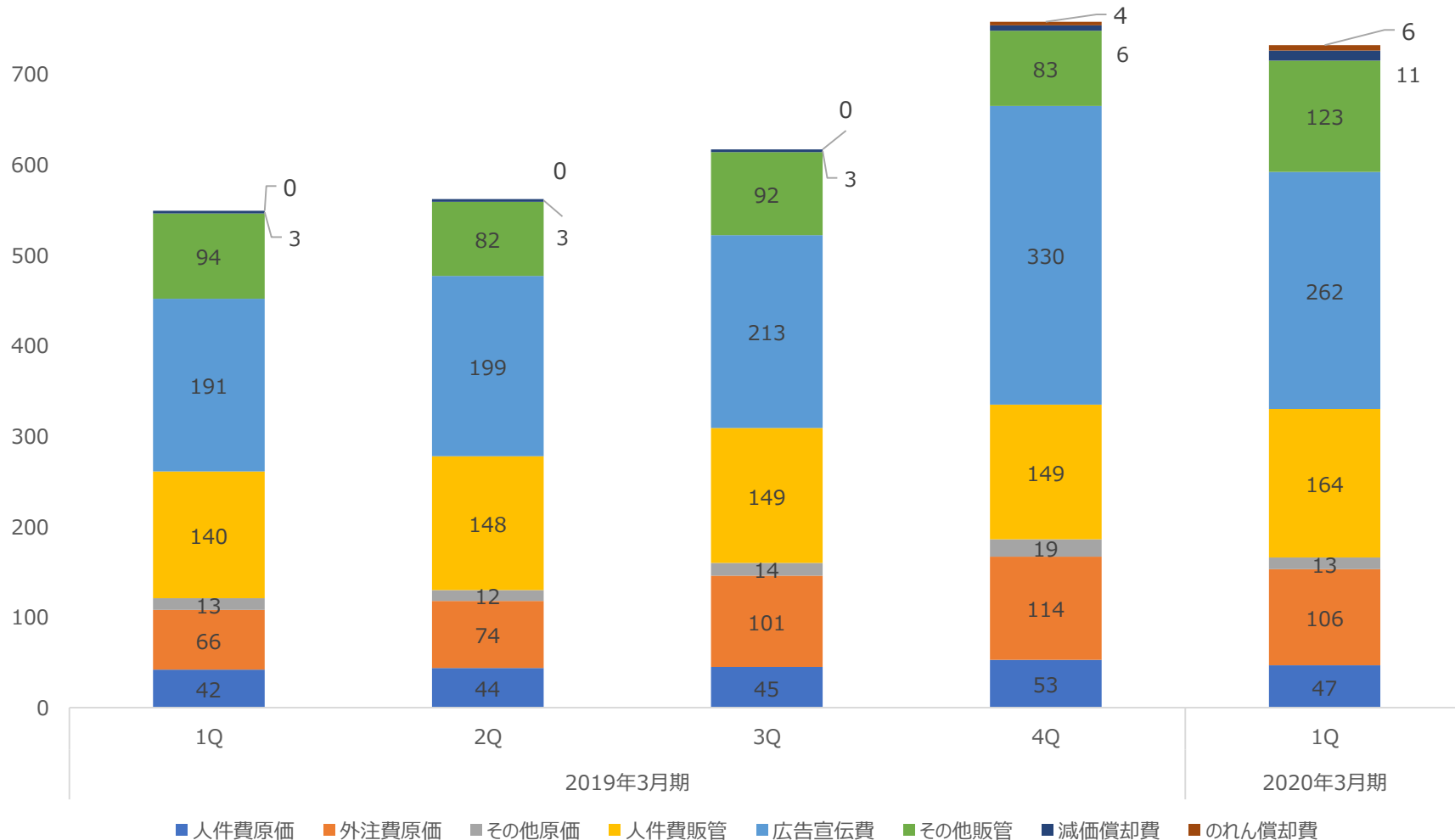
単位：百万円 1,200



※売上高広告宣伝費比率 = 各四半期会計期間広告宣伝費 ÷ 各四半期会計期間売上高

主な費用の推移

前年同四半期と比較し、インターネットメディア事業の買収に伴いのれん、ソフトウェアが増加。
 その他各種費用は業績拡大に伴い絶対額は増えるものの、費用構造に大きな変化なし。



単位：百万円

貸借対照表 増減分析

追加借入の実行、営業キャッシュフローにより現預金増加。自己資本比率も64%は上昇。
事業方針の通り、メディアの買収を進めソフトウェア増加。

単位:百万円	19/3期末	20/3期 第1四半期	増減額	増減率	増減要因
現金及び預金	2,395	2,457	61	3%	
売掛金	592	411	-180	-31%	
流動資産合計	3,095	2,919	-175	-6%	
有形固定資産合計	31	31	0	-1%	
のれん	123	116	-6	-5%	
ソフトウェア	48	191	143	297%	事業方針の通りメディアの買収を進めたためソフトウェア増加。
無形固定資産合計	171	308	136	80%	
投資その他の資産合計	176	159	-16	-10%	
繰延資産合計	7	7	0	-9%	
資産合計	3,482	3,425	-56	-2%	
短期借入金	379	229	-150	-40%	
1年内返済予定の長期借入金	209	290	80	38%	
流動負債合計計	1,209	932	-277	-23%	
長期借入金	150	264	113	75%	
その他固定負債	30	34	3	12%	追加の長期借入の実行により増加。
固定負債合計	181	298	116	64%	
負債合計	1,391	1,231	-160	-12%	
純資産合計	2,091	2,194	103	5%	
負債及び純資産合計	3,482	3,425	-56	-2%	

PORT INC.

今後の業績見通し

今後の業績見通しについて

上半期減益予想から営業利益ベースで増益予想に変更。キャリア、ファイナンスともに想定以上の送客数で推移。通期業績予想について、現時点では変更なし。

	2020年3月期 最新予想	2020年3月期 5月13日予想	5月13日予想比 (上半期)	2019年3月期 実績	前年同期比
単位：百万円	上半期	上半期		上半期	
売上高	1,723	1,685	+2%	1,348	+28%
営業利益	250	211	+19%	230	+8%
経常利益	235	188	+26%	231	+2%
当期純利益	166	159	+5%	193	▲14%

インターネットメディアの買収進捗

2月のリーガル領域買収以降、合計8件のメディアの買収を実施。方針通り順調に買収を進め、メディアポートフォリオが拡大。メディア数増加によるチャンネルの拡大を促進。

キャリア

ファイナンス

その他

4
メディア

2
メディア

2
メディア

※2019年8月9日現在

主な買収インターネットメディア

ファイナンシャルプランナーが監修するカードローン情報サイト。
カードローンについての口コミ、発行・利用までの体験情報などをイラストを用いて丁寧に解説。

カードローン・エージェント

カードローン・エージェント

「利用者に役立つこと」がミッション！
FP監修のカードローン情報サイト



ナターシャ

出身地：ロシア。
大手天然ガス企業の役員である父と元モデルの母を持つ26歳。
業界でもTOP1%に入るカードローンのエリート。ジャスミンとミカサの教育係を兼任。
ロシア仕込みの高い分析能力が強み。



ジャスミン

出身地：アメリカ合衆国。
映画配給会社を営む両親との間に生まれた20歳のエージェント訓練生。
湯水のごとくお金を使う彼女の姿に危機感を覚えた両親が半ば強制的にエージェント養成スクールへ。



ミカサ

出身地：日本。
一般的なサラリーマンの家庭に生まれた庶民派の18歳。高い身体能力と頭脳を併せ持ち、学費免除でエージェントスクールへ。ただしカードローンについてはまだまだ知識は浅く駆け出しの身。



情報屋ニッキー

出身地：日本
謎の情報屋ニッキー。WEBの仕事のかたわらエージェントからの依頼もこなす。主な活動は、カードローンの実態調査。実際に大手消費者金融や銀行系カードローンに申込みを行い、口コミやネットとは異なるリアルな情報を収集。現在、30社への潜入（契約）を目標としている。



URL: <https://jet-walk.jp/cardloan/>

PORT INC.

当社の事業について

Corporate mission

世界中に、アタリマエとシアワセを。

社名	ポート株式会社／PORT INC.
設立	2011年4月18日
本社所在地	東京都新宿区西新宿8-17-1 住友不動産新宿グランドタワー12F
支社・サテライトオフィス所在地	支社：東京都新宿区西新宿7-21-1 新宿ロイヤルビル6F サテライトオフィス：宮崎県日南市岩崎 3 丁目 9 - 5
事業内容	インターネットメディア事業
従業員数	157名（2019年3月）
平均年齢	約29歳
男女比率	6：4
証券コード	7047（東証マザーズ、福証Q-Board 2018年12月21日上場）

当社が運営するインターネットメディアの紹介

ジャンル特化型のインターネットメディアを複数領域で展開しており、専門家監修コンテンツを掲載。
インターネットメディアによる集客力を活かし、サービス開発を実施。

キャリア（人材）領域

 **キャリアパーク!**

 **就活の未来**

ファイナンス（金融）領域

 **マネット** **カードローン**

 **マネット** **FX**

 Mitsukaru Hoken
ミツカル保険

メディカル（医療・健康）領域

 **Online-Clinic**
オンラインクリニック

リーガル（法律相談）領域

 **債務整理の森**

 **交通事故示談交渉の森**

ビジネスモデル

悩みを抱えるユーザーに対してノウハウコンテンツを提供。
領域特化型である強みを活かして、ユーザーの悩みの解決に向けた最適なサービスとのマッチングを支援。
マッチング成立でサービス提供元から成果報酬を得る送客モデル。

STEP1 悩む

STEP2 調べる

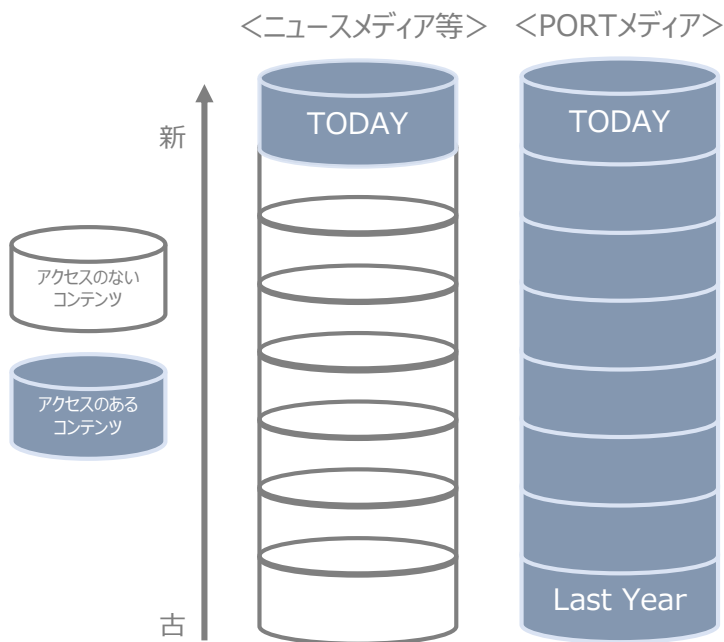
STEP3 行動する



当社インターネットメディアの特徴 ~ストック型のメディア開発~

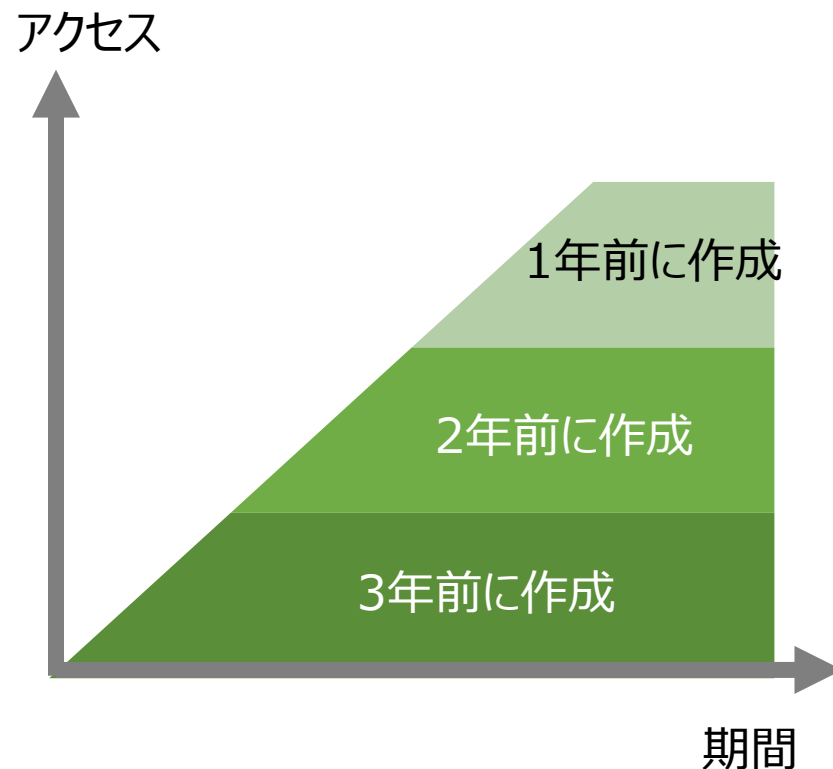
流行に左右されにくいテーマに対してコンテンツを開発するため、
コンテンツのライフサイクルが長く、コンテンツ数の増加に伴いアクセスを蓄積することが可能。
このため、グロースフェーズに突入すると追加コストを特段必要とせず、安定してアクセスを増加させていくことができる。

◆記事のストック化



フロー型ではなくコンテンツがストックされて
資産化するモデル

◆アクセス獲得イメージ

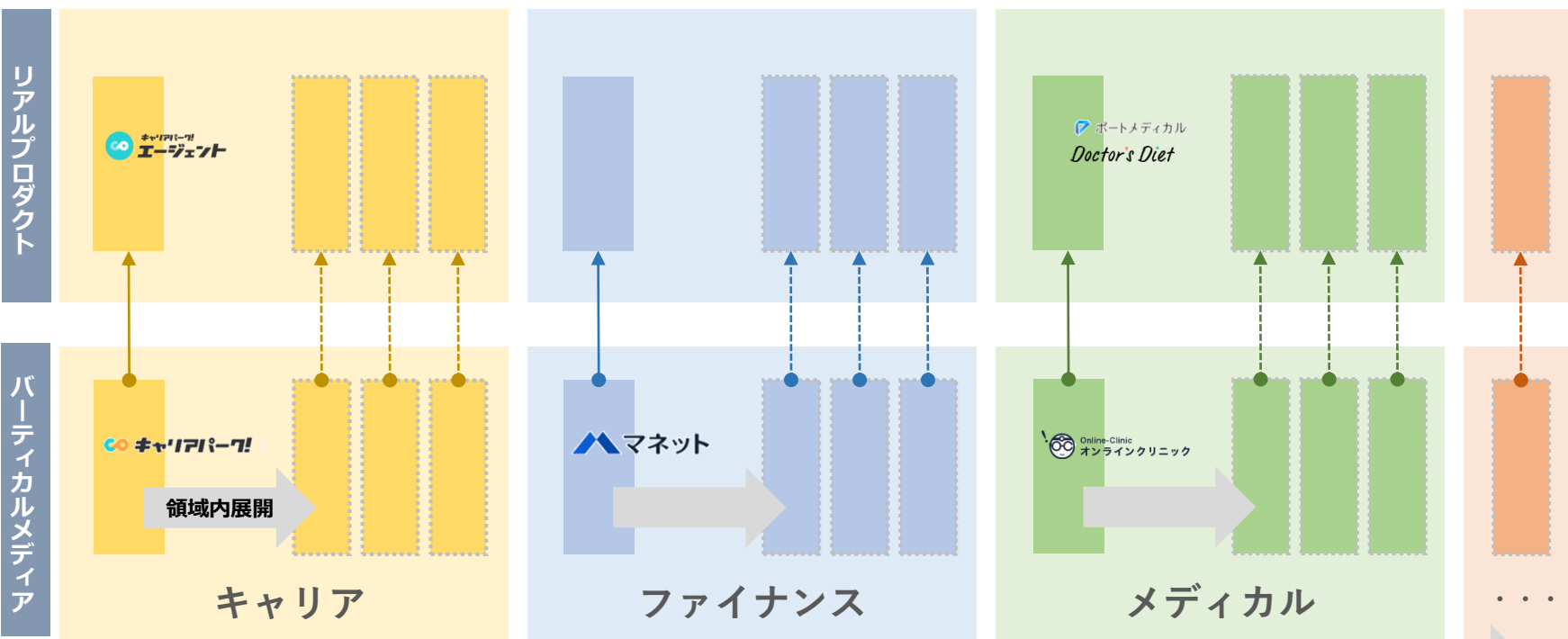


事業戦略

既存メディアの集客力と開発ノウハウを軸に、3方向への事業展開を加速させる。

- ①領域内（横）展開：ジャンルの拡充
- ②水平（横）展開：参入領域の拡充
- ③垂直（縦）展開：行動データを活かしたリアルプロダクト等の開発

垂直展開
(縦展開)



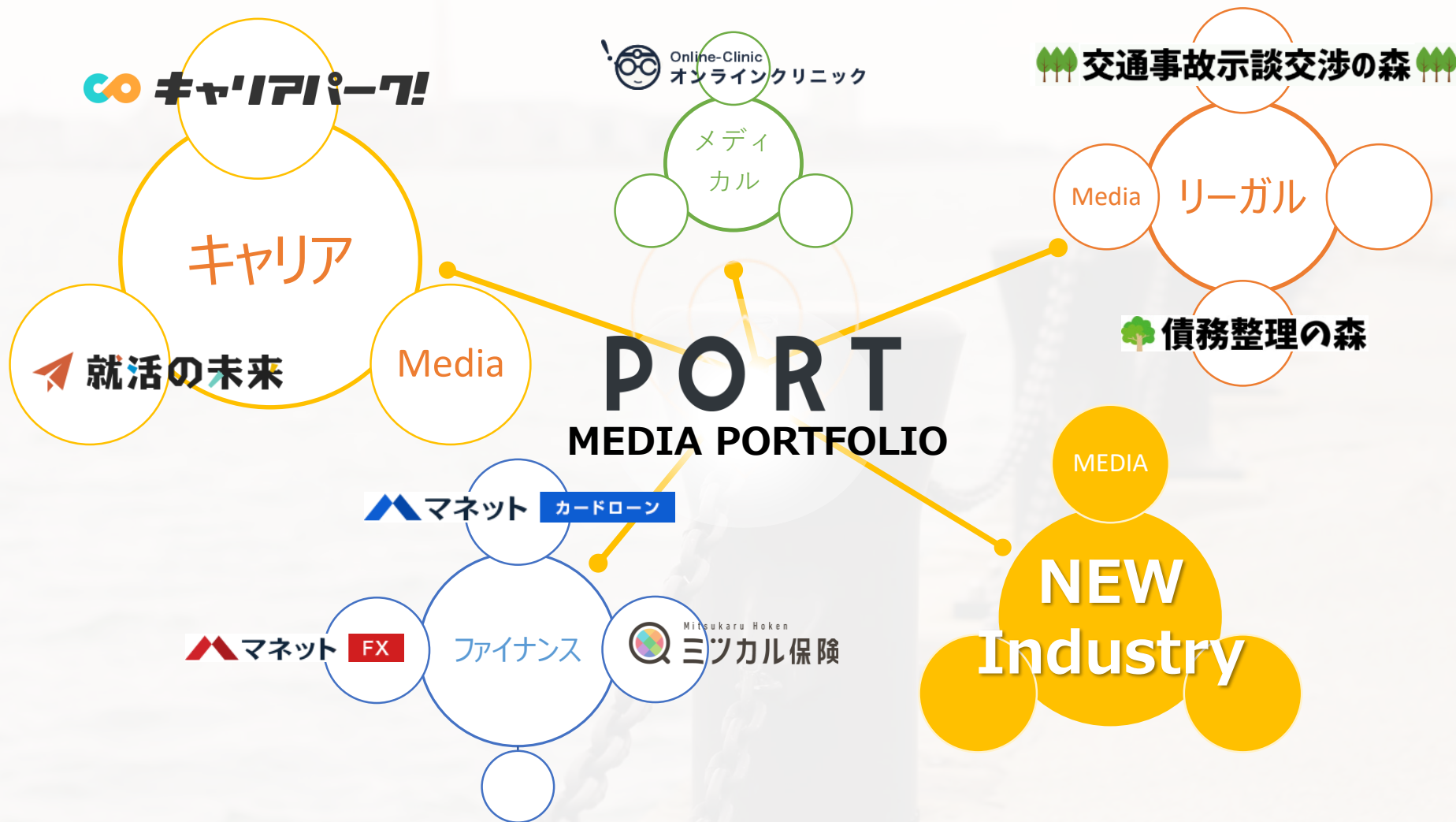
水平展開 (横展開)

PORT INC.

事業方針・投資方針

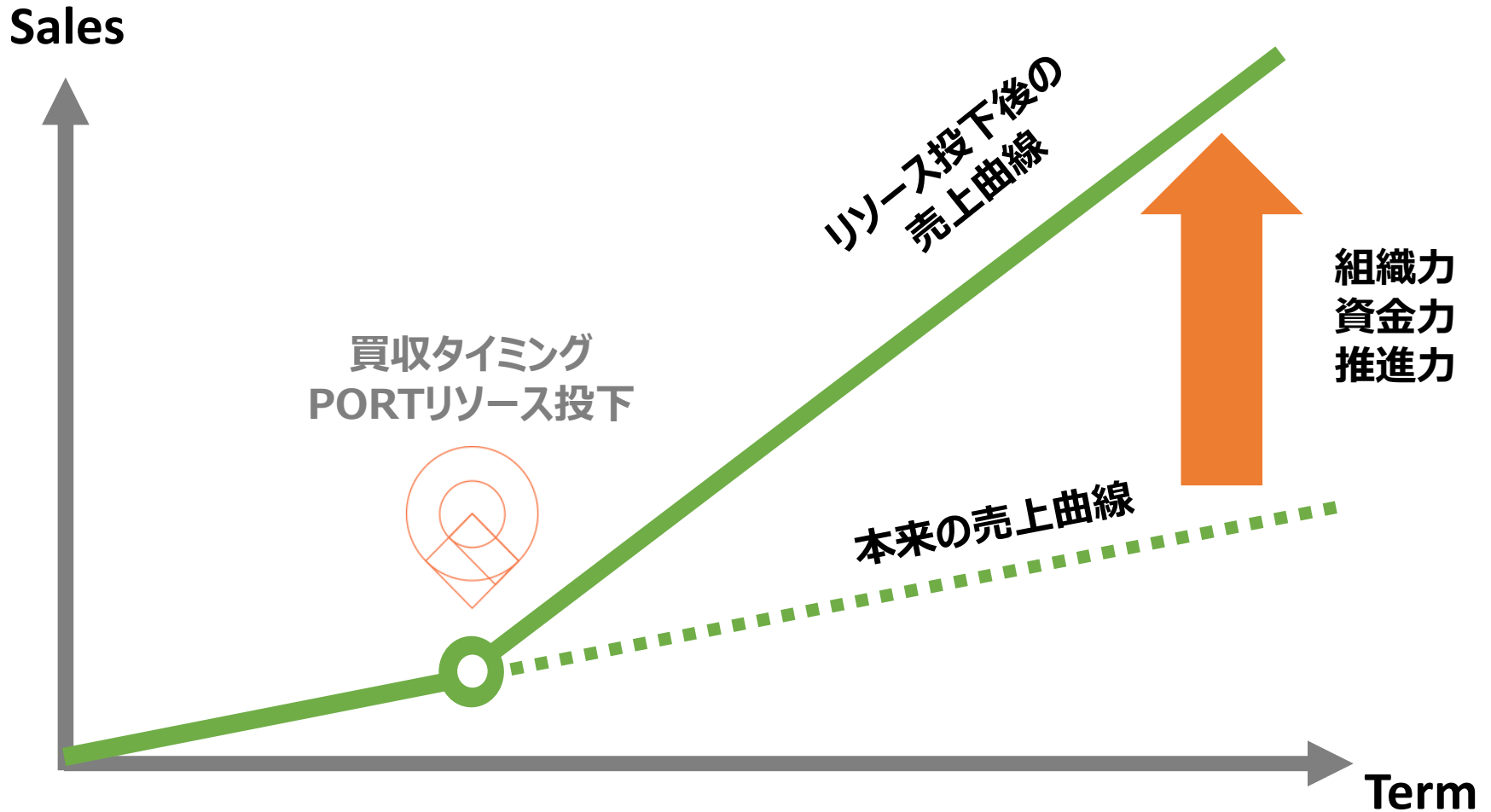
投資方針

拡大するインターネット広告市場において、小規模運営されている良質なメディアが多数存在。
良質なコンテンツを保有する小規模インターネットメディアを積極買収し、次なる成長エンジンを外部からも取り込む。



スピーディな拡大・収益化が可能

小規模に運営されている良質なメディアを買収。
親和性が高いからこそ当社のリソースを投入することですぐに収益を拡大させることが可能。



買収メディア選定方針

買収するインターネットメディアは以下の方針で選定。



■ 将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements) を含みます。
- これらは現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

